

ITと騒ぐ前に中小企業はやるべきことがある

タイトル 「ITと騒ぐ前に中小企業はやるべきことがある」
中小企業白書2000に学ぶ

対象 中小・中堅企業の経営者・管理職
時間 2時間程度（用途に応じ1時間から1日に変更可）

日時場所 お打ち合わせの上決定

費用 お打ち合わせの上決定

条件 液晶プロジェクター利用可能

無理な場合はOHPでもよいが動画効果に制限あり



講師略歴 慶応義塾大学（経済）イリノイ州ラ・サール・エクステンション・ユニバーシティ（経営・マーケティング）。商社で事務機器、印刷機器等の輸出入担当、駐在所長・海外法人役員を歴任。円満退社後経営コンサルタントとして独立。経営コンサルタント・グロマコン（Global Management Consultants）を設立、代表取締役。経営計画・経営戦略、マーケティング戦略・営業部門強化、経営情報化・IT戦略を中心に上場企業から中小企業まで、製造業・ベンチャー企業などに重点をおいた、グローバルな視点で経営協力。文京区中小企業懇話会、異業種交流会BUN-NET、経営戦略研究会などで、主宰・世話人・役員で社会貢献。最近は分けて経営コンサルタントの育成にも力を注いでいる。

講師著書等 「パソコンが怖くて管理職といえるか」、「パソコン業務をこう管理せよ」（以上中経出版）、「なるほどロータス123〈営業幹部編〉」、「Windows表計算ソフトを使いこなす」（以上日経BP）、「実践・営業管理者のためのパソコンノウハウ」、「見てわかるデータベース桐」、「Let'sアイリス・プログラミング入門」（以上ソフトバンク）、「これで初めてパソコンが使える」（経林書房）、「営業に成功する本」、「印刷営業マンハンドブック」（以上印刷学会）、「ゼロから始めるパソコン〈正調派入門法〉」、「Windowsから始めるパソコン」、「Excelから始めるパソコン」（以上エーアイ出版）、「製品ライフサイクルと各ステージの経営戦略」、「英文手紙の効果的な書き方」、「パソコンの管理・活用マニュアル」等、著書・論文の多くあるなかでも、米ビジネス・ウィーク誌の「アメリカにとって今が対日対策のチャンス」は全米に大きなインパクトを与えた。

講演経歴等 「21世紀に勝ち残れる経営者の戦略経営」「経営者のための経営情報戦略入門 - 失敗しないコンピュータ活用術」「経営環境に対応した経営計画の立て方」「業績向上を図れる営業部門強化の実践的管理」「1か月で実務に活かせる営業武将のパソコン入門」「経営戦略意志決定に活かせる経営者・管理職のインターネット活用法」「企業トップ・営業幹部のマーケティング実践活用ノウハウ」「営業幹部の部下を奮い立たせるOJTのすすめ方」「全社丸の営業年度方針・売上計画の立案」「数字に強い営業武将への変身術」「営業日報を磨かざる玉にして企業が成長するか」「目標常達の営業マン自己管理術」「初級管理職として何をすれば勝ち残れるか」「営業部門強化の中小企業向けSFAシステムとは」

ITと騒ぐ前に 中小企業はやるべきことがある

- 起** ITに中小企業が取り組む姿勢
- 承** IT革命にとり残されないための基本
- 転** IT革命の流れをつかもう
- 結** このように取り組めば無理なく成功する
当たり前前かが当たり前前ができる企業づくり

政府主導でIT革命が進められようとしています。しかし、大半の中小企業では「IT」が何であるかすらよくわからないのではないのでしょうか。これまで永年企業の経営情報づくりを手がけてきた経験から、IT革命を始める前にまだまだやらなければならないことがあると考えます。それをやっておけばIT革命を始めてもすぐに活用できますが、基本ができていなければITを導入しても宝の持ち腐れになってしまいます。今、経営者・管理職が何をすべきかお話しします。

1. ITに中小企業が取り組む姿勢
企業が抱える問題点を如何に解決するか、経営者・管理職が何をすべきか
ネットワーク社会ではチャンスは平等、今こそ中小企業が力を発揮するとき
ヒト・モノ・カネ・情報などの経営資源の良質化がゆとりを生む
2. IT革命にとり残されないための基本
コンピュータシステム構築の基本思想
IT革命時代に即したコンピュータシステム作り
中小企業のシステムはRDBMSで使いやすさが決まる
3. IT革命の流れをつかもう
時代の流れはERP、中小企業によるERPの捉え方
経営者・管理職が知っておくべきERPの特徴と短所
中堅・中小企業向けはSAPPIでいける
4. このように取り組めば無理なく成功する
IT革命はトータル思想で進める
企業成長に併せてシステムは社員とともに育てる
システムは構築後の運用が難しい、システム運用のコツ

